保健体育

１　学習の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を培う。

◆具体的に・・・

①各種の運動に取り組む中で、運動の楽しさや喜びを味わうことや技の名称、行い方について理解し、基本的な技能を身につける。

②各種の運動に取り組む中で、運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的に解決できる力を身につける。

③各種の運動に取り組む中で、健康・安全に留意し、自主的に取り組める力を身につける。

２　評価の方法

保健体育科の評価は、技能評価だけではなく、生徒一人ひとりの様々な学習状況を把握し、よさや可能性を引き出すために、以下の３つの観点から総合的に評価します。

評価項目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
達成目標	★運動の合理的な実践を通して、運動を豊かに実践するための理論や技の名称について理解している。 ★運動の楽しさや喜びを味わうことができ、基本的な技能を身につけている。	★運動や健康・安全について課題解決を目指して考え、判断しているとともに他者に伝えることができる。	★健康・安全について、科学的に理解し、自主的にとりくんでいる。 ★自他の健康に留意しながら学習に取り組んでいる。
着目点	○個人や集団技能の習得。 ○運動の特性やルールを理解し、知識を身につけている。 ○評価テストにおいての知識・理解度。	○学習カードや資料を有効に活用している。 ○技能を伸ばそうと考えて行動している。 ○課題解決に向けての取り組みや工夫をしている。	○授業態度。（授業への意欲や取り組みの姿勢） ○忘れ物をしない。 ○記録を残している。

（１）３つの観点で評価（Ａ・Ｂ・Ｃ）をつけます。（規）基準は授業で説明します。

（２）評定（５・４・３・２・１）は、評価の結果により決まります。（例：３つの観点すべて「Ａ」ならば「５」、すべて「Ｂ」ならば「３」等）
例と異なる場合があります。

（３）主な評価対象は代表的な例です。授業でその都度説明します。